

## ① 単位の認定

試験その他の評価により担当者が採点し、60点以上の評価のときは合格で、その授業科目について定められた単位数が与えられます。

なお、単位を修得した授業科目については、再履修はできません。

## ② 学業成績の評価

(1) 学業成績の評価は次のとおりです。

|     |            |       |       |       |      |
|-----|------------|-------|-------|-------|------|
| 点 数 | 100～90     | 89～80 | 79～70 | 69～60 | 59以下 |
| 評 価 | S          | A     | B     | C     | D    |
| 摘 要 | 合 格 (単位認定) |       |       |       | 不合格  |

※ 成績は年2回（前・後学期末）父母宛に通知されます。

(2) G P A (Grade Point Average) 制度について

G P Aとは学業成績の評価方法のひとつです。

授業科目ごとの成績評価を5段階で評価し、各々の評価に対して与える4, 3, 2, 1, 0の点数(係数)をG P (Grade Point)といい、G P Aは、学期や在学期間全体など一定期間におけるG Pの単位当たりの平均値をいいます。G P Aは、各授業科目のG Pにその授業科目の単位数を乗じたものの合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出した数値であり、学修目標に対する達成度を数値で示し、履修指導等に活用するために設けられた制度です。

また、この評価方法は、欧米では一般的に普及しており、国内においても就職等の際にG P Aの提示を求める企業が増える傾向にありますので、平成17年度から日本大学全学部で導入しています。

## ア 成績評価基準

| 素 点     | 評価 | 係数 | 内 容                    | 成績表示※ |
|---------|----|----|------------------------|-------|
| 100～90点 | S  | 4  | 特に優れた成績を示したもの          | S     |
| 89～80点  | A  | 3  | 優れた成績を示したもの            | A     |
| 79～70点  | B  | 2  | 妥当と認められたもの             | B     |
| 69～60点  | C  | 1  | 合格と認められるための成績を示したもの    | C     |
| 59点以下   | D  | 0  | 合格と認められるに足る成績を示さなかったもの | —     |
| —       | E  | 0  | 履修登録をしたが成績を示さなかったもの    | —     |
| —       | P  | —  | 履修登録後、所定の中止手続きを取ったもの   | —     |
| —       | N  | —  | 修得単位として認定になったもの        | N     |

※ 成績証明書には、評価の欄にあるD, E, Pの評価は表示されません。

## イ G P A算出方法

授業科目ごとの成績評価に該当する係数に各授業科目の単位数を掛けたものがポイント数となり、ポイント数の総計を総履修単位数（D, Eの単位数も含める）で除したものがG P Aと

なります。

GPAは小数点第2位まで表示します。

なお、P（履修中止）、N（認定科目）はGPAに算入しません。

$$\frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修単位数 (D, E の単位数も含める)}}$$

### ③ 下級年次授業科目の再履修

履修した授業科目の単位を修得できなかったときは、もう一度その授業科目を履修（再履修）することができます。なお、詳細については**履修の手引**を参照してください。